

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	平成31年度第2回みよし市児童育成計画審議会		
開催日時	平成31年2月26日(火) 午前10時から11時15分まで		
開催場所	市役所2階 202会議室		
出席者	(委員) 小沢会長、梅川委員、馬淵委員、山内委員、愛甲委員、山崎委員、松本委員、近藤委員、正亀委員、松永委員 欠席：柴田委員、山本委員、久野委員、谷澤委員、 (事務局) 林子育て健康部長、加藤子育て健康部次長、小嶋指導保育士、城子育て支援課主幹、吉田副主幹、木戸副主幹、岩下副主幹 (傍聴者) なし		
次回開催予定日	平成31(2019)年7月上旬		
問合せ先	子育て健康部子育て支援課 担当者名 木戸・岩下 電話番号 0561-32-8034 ファックス番号 0561-34-4379 メールアドレス kosodate@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録全文</li> <li>・議事録要約</li> </ul>	要約した理由	
審議経過	<p>○子育て健康部次長：ただ今から、みよし市児童育成計画審議会を開催します。なお、本日の会議は公開といたしております。あらかじめご承知おきください。                  続きまして、小沢会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。</p> <p>○小沢会長                  あいさつ</p> <p>○子育て健康部次長：ありがとうございました。なお、本日、柴田委員、山本委員、久野委員、谷澤委員は、ご都合により欠席されています。それでは、本日の議題に移ります。                  みよし市児童育成計画審議会設置要綱第5条第1項の規定により、会長が議長となりますので、小沢会長よろしく申し上げます。</p> <p>○小沢会長：ただ今から、議事に入らせていただきます。議題1子ども・子育て支援ニーズ調査及び子どもの生活状況調査の結果について事務局より説明をお願いします。</p>		

○事務局：議題1 子ども・子育て支援ニーズ調査及び子どもの生活状況調査の結果について、資料4 今回の調査結果と平成25年度調査との比較を子ども・子育て支援ニーズ調査項目から抜粋してご説明します。

「主に子育て・教育を行っている人」という設問に対し、未就学児、小学生の保護者共に「お母さん・お父さんとも」が増え、「主にお母さん」が減っているため、お父さんが育児に関わる家庭が増えてきていると思われます。

また、「お子さんの面倒をみてもらえる人」という設問に対し、未就学児、小学生の保護者共に「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が減少し、「いづれもない」が増えているため、頼る人がいない家庭が増えてきていると思われます。

「幼稚園・保育園などの利用日数・利用時間」については、5年前とほぼ同じ傾向がみられました。「土曜日、日曜日・祝日の幼稚園・保育園などの利用希望」は、「日曜日・祝日」の利用希望者が増えてきているのは、後の設問でもご説明しますが、正社員が増加し地域柄トヨタ系の企業が多いため、祝日の利用を希望する親が増えたためと思われます。

「小学校就学後の放課後の過ごし方について」については、「放課後児童クラブ」の利用希望者が15%増えているのは、共働き家庭が増えているためと思われます。

「育児休暇の実際の取得期間および希望」については、5年前に比べ、育児休業の取得期間1年未満が減少、1年6か月以上が増加していることから、取得期間が延長傾向にあります。

次に資料2 子どもの生活状況調査について抜粋してご説明します。

「ごはんを一緒に食べる相手」では、気になる回答として、小学生の12.4%が朝食をひとりで食べ、0.7%が食べないと回答しており、「ごはんを食べない理由」として12.5%が食べるものがないからと答えています。

「お子さんを医療機関に受診させなかったこと」については、就学前17.4%、小学生12.1%、中学生11.7%の回答がありました。この数字は、無視できない数字だと思います。また、「お子さんを医療機関に受診させなかった理由」としては、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が就学前4.6%、小学生14.7%、中学生26.6%と年齢とともに増えてきています。

「母親の就労状況について」は、就学前、小学生共に「フルタイムで働いている（正規）」が増え、「パート・アルバイトなどで働いている」が減っています。これは、「就労日数、就労時間」が「5日」「8時間」が一番多いことからフルタイムで働いている母親が多いことが伺われ、若い世代の親ほど多いことから仕事を辞めずに働いている母親が増えていることがわかります。

「こども食堂の利用意向」では、保護者は「行かせたい」が一番多く、児童は「ぜひ行ってみたい」「一度は行ってみたい」が半数以上を占めており、こども食堂への関心が高いことが伺えます。

○小沢会長：それでは、只今の事務局の説明につきまして、何かご意見、ご質問はございませんか。

○山内委員：今回のアンケートに際し、外国人の対応について何か特別な配慮はありましたか。

○事務局：未就学児、小学生の対象者のうち、名前がカタカナなど外国人と思われる方は、世帯状況を確認しましたが、両親のいずれかが日本人であったため、日本語のものを郵送しました。しかし1件は、英語のものがほしいと連絡があったため、再送付しました。

中学生については、学校へ事前に対応方法を確認し、英語、ポルトガル語で対応している方については、それぞれのものを各学校に必要な部数お渡ししました。

○山内委員：本市も外国人が増えてきて、貧困、準用保護、離婚、虐待などの問題に外国人が関わるようになってきています。様々なトラブル対応のために、生活状況の把握は大切になってくるので、今後も同様に配慮していただきたいと思えます。

○松本委員：最近、学校のいじめに関するアンケートや様々な調査に親が子どもに本当の事を書かないように言っているという声を聞くので、「アンケートに保護者から本当の事を書かないように言われたことがあるか」という設問を入れることを提案します。

○事務局：アンケートにそのような設問を入れることで、親の目に留まることもあるし、そのようなことを知らない親に情報提供することにもなるので、その設問を入れるのは難しいのではないかと思います。

アンケートを集計する際にそういうこともあるかもしれないということを知った上で集計していきたいと思えます。

○山内委員：学校でもアンケートをする時には様々な配慮が必要な状況で、例えばいじめのアンケートをする時に、ない子は直ぐに書き終わり、ある子は長くかかってしまうので、誰があると書いたのかわからないようにするため、ない子も最近の楽しかったことなどを書いてもらうなどの配慮をしています。

また、回収も誰の回答かが分からないようにするため、先生が各児童の席をまわって回収しています。

中学生を通して親のアンケートを回収する場合、親の所得を子どもが見比べたりすることがないように封をするなどの対処が必要だと思えます。

○小沢会長：他にご意見等はございませんか。無いようでしたら続きまして、今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

○事務局：今回の調査報告書は、冊子として3月頃にできあがる予定ですので、委員の皆さまには、郵送させていただきます。

平成32年度から5年間の次期児童育成計画を策定するため、今回の調査結果を詳しく分析し、6月頃までにはニーズ量の推計、計画骨子案を作成し、7月の第1回審議会で皆さまにご検討いただきたいと思っています。

検討いただいた内容を基に10月までに計画案を作成し、第2回審議会を開催。12月には市民の皆さまのご意見をお伺いするため、パブリックコメントを実施し、意見を集約して2月の第3回審議会で再度ご検討いただき、3月には報告書を作成できればと思っています。

○小沢会長：何か質問はございませんか。無ければ、これで議事を終了したいと思います。どうもありがとうございました。  
それでは、進行を事務局にお返しします。

○子育て健康部次長：小沢会長ありがとうございました。それでは最後に、林子育て健康部長よりお礼を申し上げます。

○子育て健康部長  
お礼のことば

○子育て健康部次長：委員の皆さま、長時間にわたりありがとうございました。以上をもちましてみよし市児童育成計画審議会を終了します。  
ありがとうございました。